

丸紅NWSが情報共有システムに新機軸 法人向け動画ソリューションを一括提供

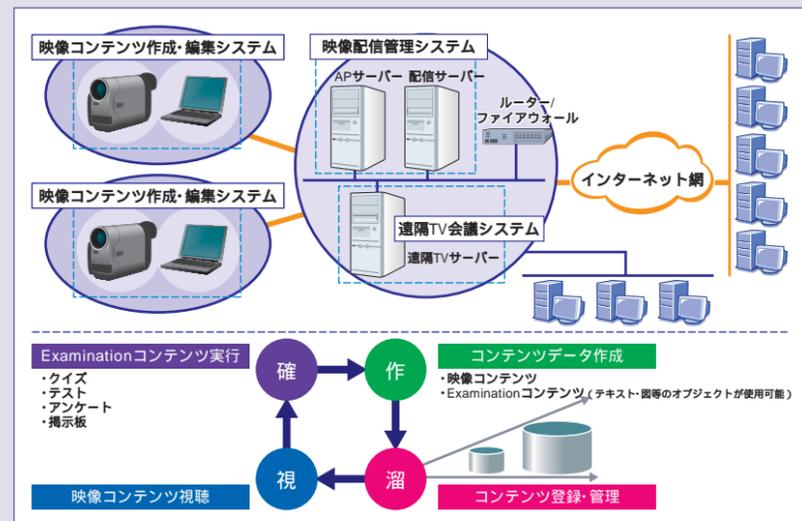
丸紅ネットワークシステムズは、ブロードバンド時代の情報共有システムの新形態として、動画を活用したトータルソリューションを提案。文字や音声では伝えきれない部分を動画像で補える情報共有システムを開発し、企業の集合研修、販促支援、テレビ会議、大学の授業サポートなどさまざまな用途で販売していく考えだ。

丸紅ネットワークシステムズは、丸紅の通信事業部門を母体とし、世界各地で通信や放送インフラの調査設計といったエンジニアリング業務から建設工事・保守業務までトータルなネットワークソリューションを提供している。さらに、国内では海底ケーブルの光バックホール、市内リング、データセンターの設計・建設・ファシリティマネジメント、LAN構築などインフラ分野のビジネスを拡大してきた。

そして、次の新規ビジネスとして着目したのが、映像、音声、データを活用したマルチメディアアプリケーションの領域である。ネットワークの高速・大容量化が進展する中、通信事業者に加え、コンテンツプロバイダー、アプリケーションプロバイダーなど多くの事業者から注目が集まっている分野である。

同社のマルチメディア関連ビジネスは多岐にわたるが、なかでも、ユニ-

SCOOMのシステム構成図



クな試みが、動画を活用した情報伝達、情報共有を実現するソリューション「SCOOM(スクーム)」である。

動画は、文字や音声に比べ直感的に伝えられる訴求力を持ち、また微妙なニュアンスや雰囲気も伝えることも可能だ。ネットワークソリューション本部ソリューションサービス部ソリューショングループ横濱課長は、「動画像による情報共有を“アディショナルコミュニケーション”と捉え、将来の情報システムにとっては重要な要素になると期待している。しかし、従来の動画コンテンツは、外部発注により制作に時間がかかるうえ、そのコストは1本あたり数十万円以上ということも珍しくなく、なかなか手軽に扱えなかったのである」と説明する。

SCOOMは、手軽に低コストで動画コンテンツを生成、配信できる工夫が凝らされており、さらに企業や教育機関など法人で利用できるよう、配信



ネットワークソリューション本部
ソリューションサービス部
ソリューショングループ
横濱 博 課長

やアクセス管理機能も強化されている。機能別に見ると、コンテンツのオーサリング(作)管理(溜)、配信(視)、評価(確)という4つのパートで構成されており、動画を活用した情報システムに必要な機能はすべて揃う。

上記の機能に応じて、オーサリングは、EZプレゼンター、Examの2つを用意。EZプレゼンターは、動画と、動画に連動しページが変わる図表、テキストなどのウェブページを簡単に作成できるオーサリングツール。図表、テキストのコンテンツは、多くのユーザーが使っているマイクロソフトの「パワーポイント」をベースに自動的に作成できる。プレゼンテーションの様子を付属のビデオカメラで撮影し、ファイル名などを定義づけ、文字や図表が書かれたパワーポイントを取り込むだけで、ストリーミング対応のWebコンテンツが完成する。エンドユーザーは、Webブラウザさえあれば閲覧可能だ。

Examは、研修や教育した内容の習熟度をチェックできる評価機能を提供するものである。管理者は、質問項目などを考えさえすれば、すぐにアンケート、クイズ・テスト問題を作成できるという。習熟度を高めるため、コンテンツを閲覧後に復習テストを実施し、合格するまで次のコンテ



階層カテゴリーで表示したり、コンテンツの一覧表示が可能(左、中)。動画の進行に応じてプレゼンテーションのページが自動的に変化する(右)

ンを見せないという設定も可能だ。その他に、以下の充実した管理機能が備わっている。

・リモート対応

インターネット環境さえあれば、どこからでもシステムを管理できる

・階層管理

会社なら事業部や部署単位で、大学なら学部や研究室ごとというように、階層カテゴリーをユーザーの組織に応じて自由に設定できる

・アクセス制御

グループ単位や個人単位でアクセスできるユーザーを選択可能

・シングルサインオン対応

既存のシステムと連携し、一つのIDパスワードで利用できるようになる

・履歴統計情報

コンテンツの受講履歴等の各種統計情報を表示

・コースとして統合

コンテンツを複数束ねて、一つのコースに設定できる

・プロフィール管理機能

ユーザー登録時のプロフィールのデータフィールドを自由に設定できる。

また、リアルタイム映像ミーティング機能のGloBiz21は、ブロードバンド回線に対応したテレビ会議システムである。PCクライアントには分割された画面が表示され、メンバーがWebカメラとスピーカー/マイクを使い、動画によるミーティングを行う。さらに、その内容をサーバー側で議事録として保存することも可能だ。PCクライアント側にはノイズキャンセラーを搭載したサウンドカードを使用することで、比較

的低速な回線であってもクリアな音声品質を再現できる。

より早く・より簡単に 鮮度の高いコンテンツを提供

では、SCOOMの販売はどうかだろうか。丸紅ネットワークシステムズは、ターゲットユーザーとして業種・業態を問わない一般の企業ユーザーと、大学などの教育機関を想定している。

横濱課長は、「SCOOMは、eラーニングに特化したものではなく、動画を活用した情報共有システムと考えている。さまざまな業務分野に適用できる画像を使ったコミュニケーションは、情報共有効果に加え、業務改善やコスト削減でも効果を発揮する」と話す。例えば、家電メーカーが量販店の販売員に自社の新製品を知ってもらうため、店舗での販売用パンフレットを作ったり、研修を行ってきたが、SCOOMを使えば、インターネット経由やCD-ROMパッケージ配布などで、簡単にストリーミング画像を配信できるようになり、オンライン研修が可能になる。メーカーにとっては販促コストの削減につながり、家電量販店にとっては短期間に動画で分かりやすい販売マニュアルを容易に手に入れられる。

すでに、試験的な導入が進んできた。ここでは、一例として芝浦工業大学の導入事例を紹介する。

芝浦工業大学の研究室では、インターネットを積極的に授業に活用しており、その一環としてEZプレゼンターを使用した映像配信管理シ

テムを採用。これは、授業を行った内容を動画コンテンツとして、受講生に対しイントラネット上で公開するもの。

毎回、授業終了後、授業名などの情報を書き加えるだけで、動画とパワーポイントをベースにしたコンテンツが生成され、Web上にアップロードされる。授業に登録している学生は、自由にコンテンツを閲覧できる。

導入効果については、研究室の学生がホームページに書き込んだコメントによると、「授業の復習にとっても役に立っている」と、評判は上々である。

現在、丸紅ネットワークシステムズでは、この試験導入で得られたノウハウをベースに、機能追加などのバージョンアップも計画しているという。

横濱課長は、「例えば、授業の理解度を深めるためには、Examinationも効果的だろう」という。授業の進捗度に応じ、その段階まできちんと理解しているかどうかテストを実施し、定着化を図る。次の計画では、テスト結果によるユーザーの理解度に応じて、復習しなければならないコンテンツを自動的に選択して見せるフォローアップ機能の追加を検討中だ。

横濱課長は、「動画像の活用はまさにこれから。手軽に使える動画システムをワンストップで提供できる点をアピールし、さまざまな企業、教育機関に薦めていきたい」と話している。

お問い合わせ先

丸紅ネットワークシステムズ株式会社
ネットワークソリューション本部
TEL : 03-3515-3492
FAX : 03-3515-3510
URL : <http://www.marubeni-net.com/>